

# 食品の安全性に関するアンケート調査結果

生活衛生課

## 1 調査目的

県では、県民の皆さまの安全で安心な食生活を確保するため、「岐阜県食品安全行動基本計画」に基づき、必要な施策を実施しています。

県民の皆さまの意識や意向を把握し、今後の施策の基礎資料とするため、アンケート調査を実施しました。

## 2 調査対象など

調査対象：県政モニター802人

(郵送モニター305人、インターネットモニター497人)

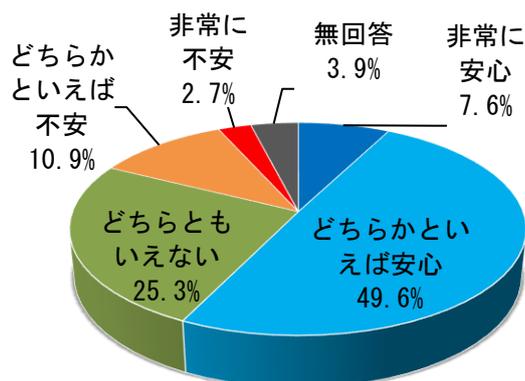
調査方法：郵送及びインターネット

調査期間：令和4年12月1日～令和4年12月21日

回収結果：661人(回答率82.4%)

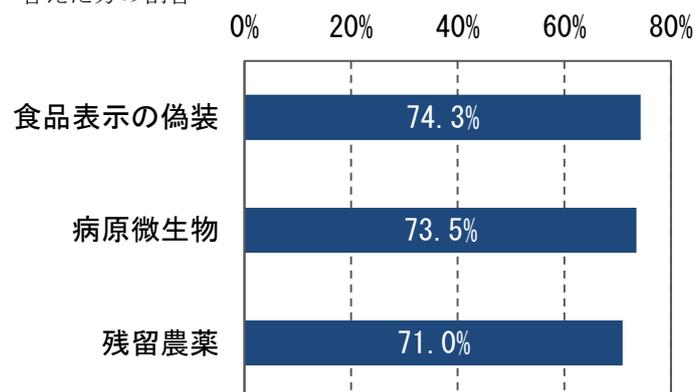
## 3 結果概要

### 【食品への安心感について】

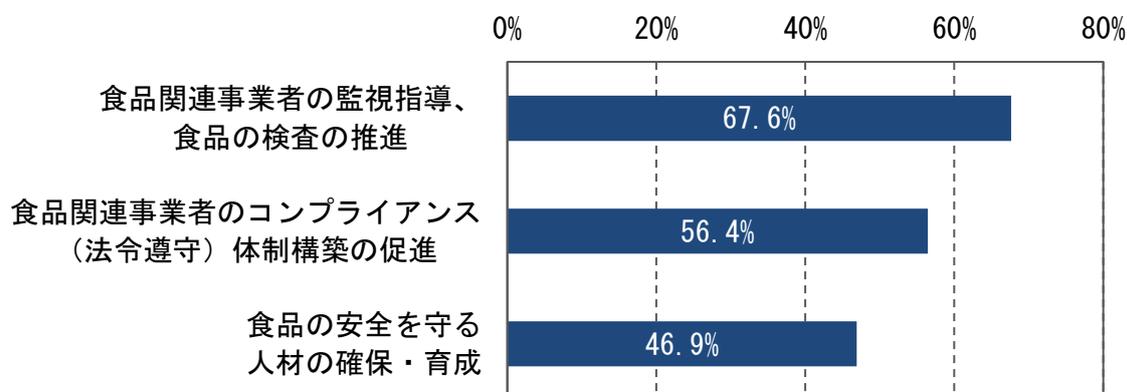


### 【不安に感じる項目】(上位3項目)

※「非常に不安」または「どちらかといえば不安」と答えた方の割合



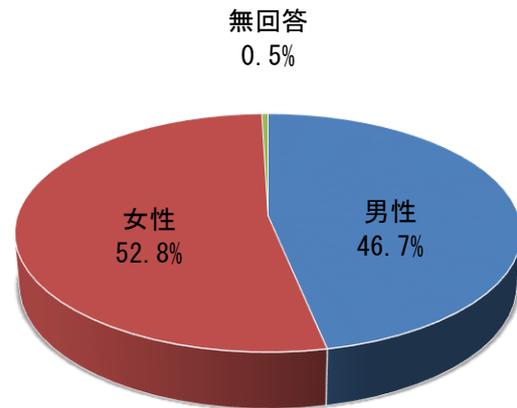
### 【県が力を入れて取り組むべきこと】(上位3項目)



#### 4 回答者属性

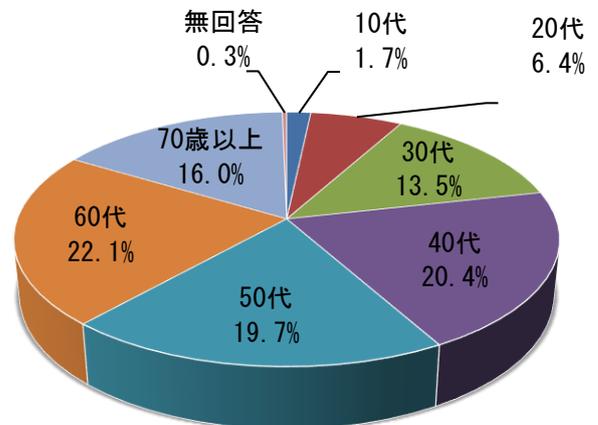
##### 性別

	人数	割合
男性	309	46.7%
女性	349	52.8%
無回答	3	0.5%
合計	661	100.0%



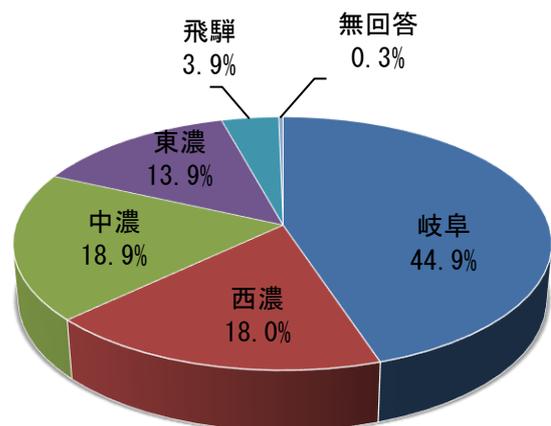
##### 年齢別

	人数	割合
10代	11	1.7%
20代	42	6.4%
30代	89	13.5%
40代	135	20.4%
50代	130	19.7%
60代	146	22.1%
70代以上	106	16.0%
無回答	2	0.3%
合計	661	100.0%



##### 居住圏域別

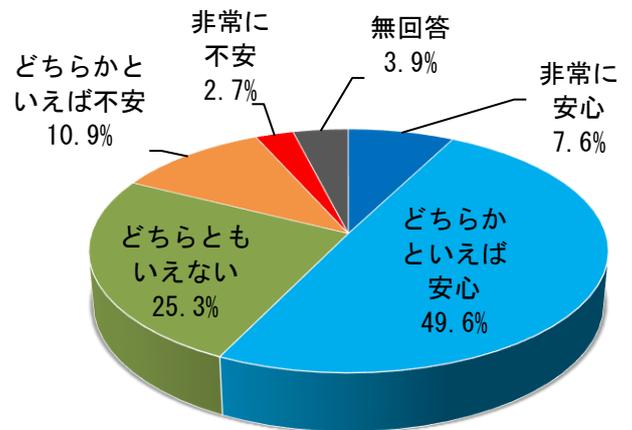
	人数	割合
岐阜	297	44.9%
西濃	119	18.0%
中濃	125	18.9%
東濃	92	13.9%
飛騨	26	3.9%
無回答	2	0.3%
合計	661	100.0%



## 5 調査結果

問1 あなたは、普段食べている食品の安全性について、どのように思っていますか。

	人数	割合
非常に安心である	50	7.6%
どちらかといえば安心である	328	49.6%
どちらともいえない	167	25.3%
どちらかといえば不安である	72	10.9%
非常に不安である	18	2.7%
無回答	26	3.9%
合計	661	100.0%



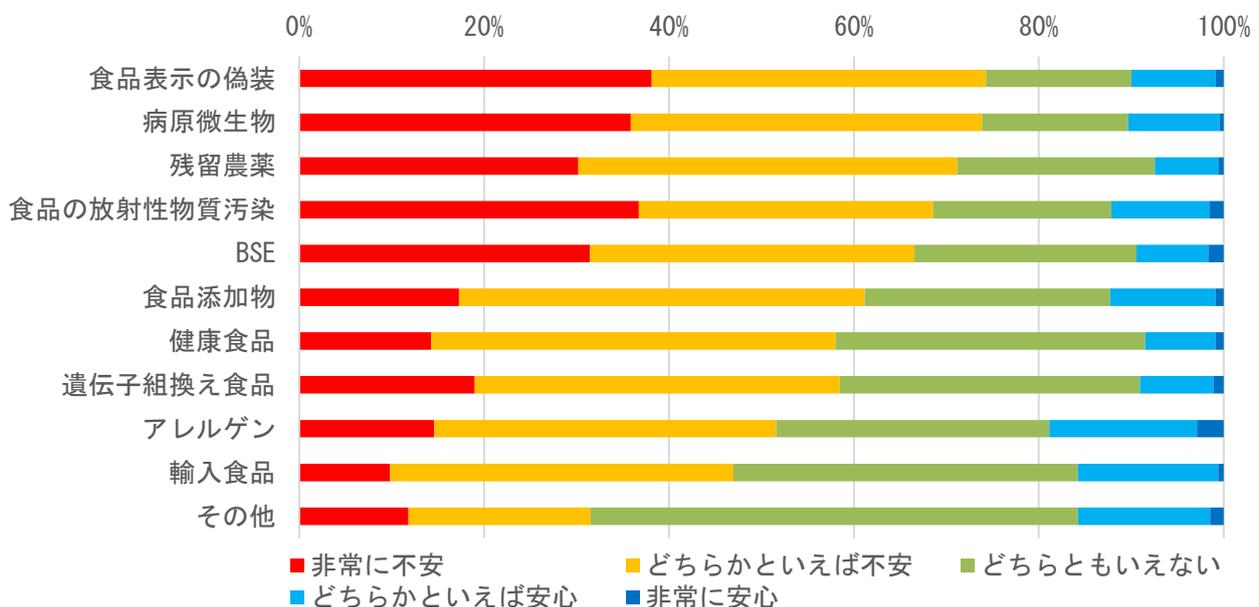
問2 各項目について、食品の安全性の観点から、あなたはどのように感じますか。

(複数回答)

(単位：人)

	非常に不安	どちらかといえば不安	どちらともいえない	どちらかといえば安心	非常に安心
食品表示の偽装	252	239	104	60	6
病原微生物	236	250	104	65	3
残留農薬	199	270	141	45	4
食品の放射性物質汚染	242	210	127	70	10
BSE（牛海綿状脳症）	207	231	158	51	11
食品添加物	114	289	175	75	6
健康食品	94	289	221	50	6
遺伝子組換え食品	124	258	212	52	7
アレルギー	96	243	194	105	19
輸入食品	65	245	246	100	4
その他	24	40	107	29	3

※「非常に不安」または「どちらかといえば不安」と答えた方の合計が多い項目順



### 「その他」のうち主なもの

- ・（非常に不安、どちらかといえば不安）中国や東南アジア産の輸入食品
- ・（非常に不安）海外では禁止されている農薬や食品添加物が使用されていること
- ・（非常に不安）ゲノム編集食品
- ・（どちらかといえば不安、どちらともいえない）食品関連事業者のモラルや衛生管理体制

問3 （食品の安全性に対する安心または不安について、昨年度と比較して変化があった方にお尋ねします。）変化したきっかけや理由等がありましたら、具体的に記入してください。（自由記述）

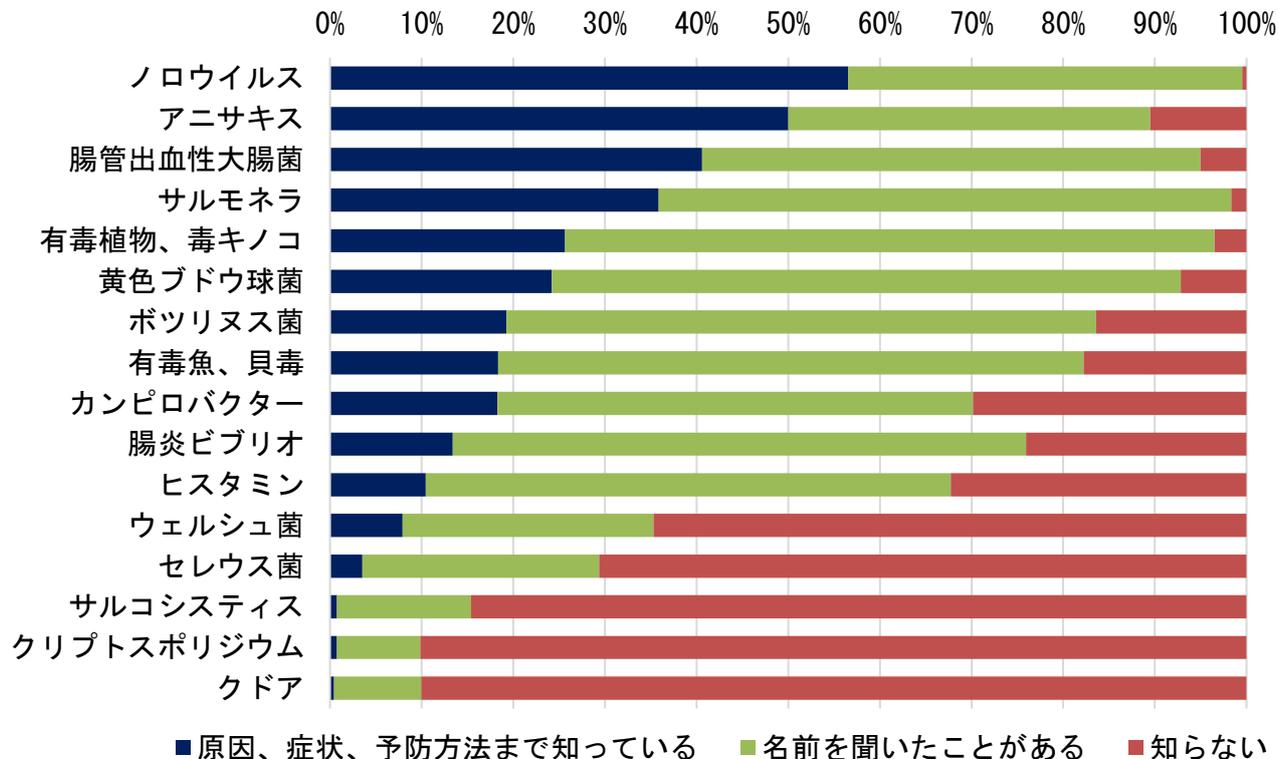
- ・欧米諸国では日本よりも食品添加物や農薬の規制が厳しいと知り、欧米諸国からの輸入食品は安全だと感じるようになった。
- ・あさりの産地偽装のニュースを見て、表示の偽装に対する不安が増した。
- ・食品添加物が多く使用されていることに不安を感じ、食品表示をよく見るようになった。
- ・加工食品や肉に防腐剤が多く使用されていると知り、不安になった。
- ・アニサキス症のニュースを見て、魚介類を買うことをためらうようになった。
- ・飲食店やコンビニで食品を粗末にする動画を見て、衛生面の不安が大きくなった。
- ・問題のある食品はメーカーが自主回収しているので心配していない。
- ・物価の高騰により、安い食品を購入することが増え、不安が増した。
- ・物価高騰や原材料不足により、食品関連事業者が産地偽装や不適切な原材料を使用するのではないかと心配になった。
- ・昨年度と比較して、食品の安全性に対する安心感は特に変化していない。

問4 食中毒（原因別）について、どの程度ご存じですか。

(単位：人)

	原因、症状、予防方法まで知っている	名前を聞いたことがある	知らない
ノロウイルス	372	283	3
アニサキス	328	259	69
腸管出血性大腸菌	266	356	33
サルモネラ	236	411	11
有毒植物、毒キノコ	169	467	23
黄色ブドウ球菌	159	451	47
ボツリヌス菌	127	424	108
有毒魚、貝毒	121	421	117
カンピロバクター	120	341	196
腸炎ビブリオ	88	411	158
ヒスタミン	69	378	213
ウェルシュ菌	52	180	425
セレウス菌	23	169	462
サルコシステイス	5	96	555
クリプトスポリジウム	5	60	594
クドア	3	62	588

※「原因、症状、予防方法まで知っている」と答えた方が多い項目順

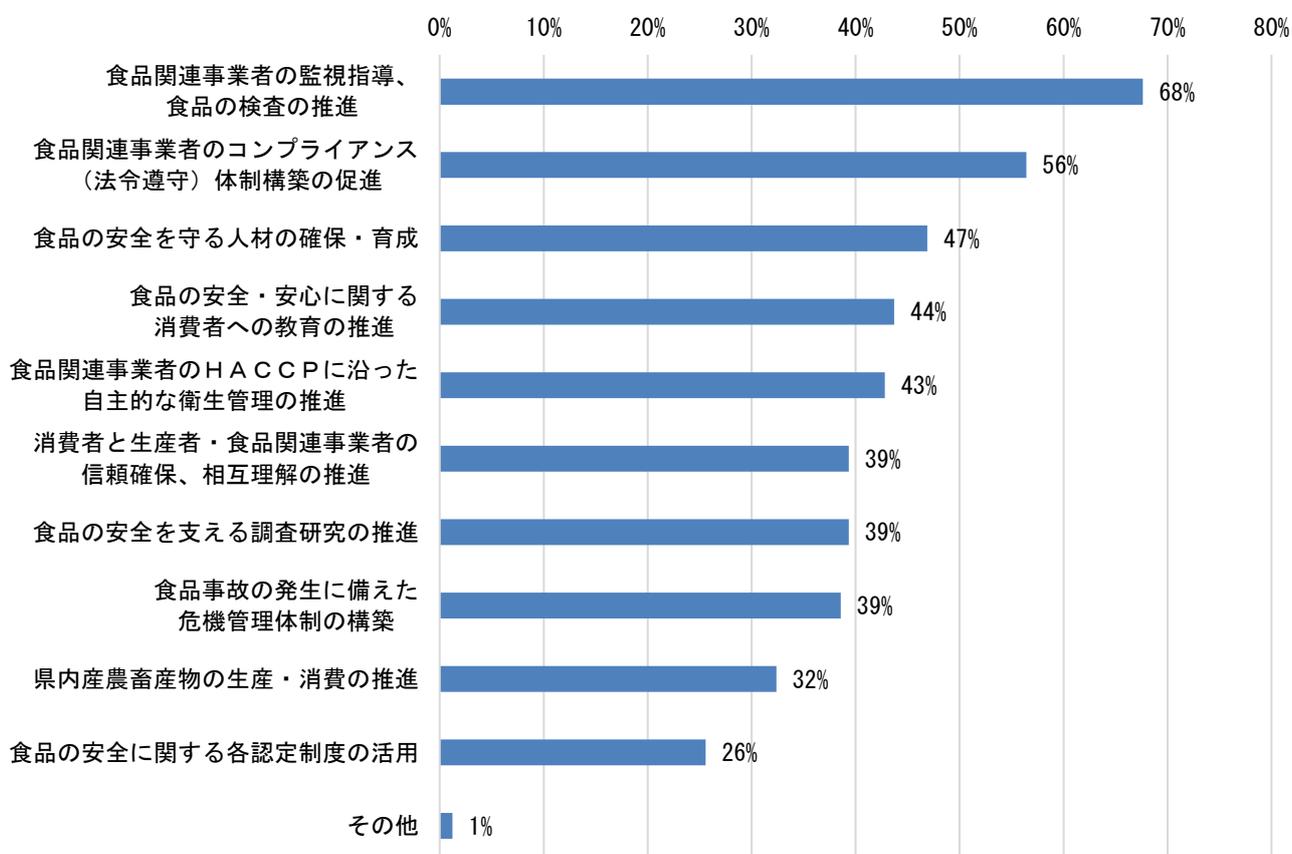


問5 食品の安全性の確保や食品に対する安心感を向上させるため、県はどのようなことに力を入れて取り組むべきだと思いますか。（複数回答）

	回答者数	割合
食品関連事業者の監視指導、食品の検査の推進	447	68%
食品関連事業者のコンプライアンス（法令遵守）体制構築の促進	373	56%
食品の安全を守る人材の確保・育成	310	47%
食品の安全・安心に関する消費者への教育の推進	289	44%
食品関連事業者のHACCPに沿った自主的な衛生管理の推進	283	43%
消費者と生産者・食品関連事業者の信頼確保、相互理解の推進	260	39%
食品の安全を支える調査研究の推進	260	39%
食品事故の発生に備えた危機管理体制の構築	255	39%
県内産農畜産物の生産・消費の推進	214	32%
食品の安全に関する各認定制度の活用	169	26%
その他	8	1%

「その他」のうち主なもの

- ・ 韓国、中国産の食品の検査の強化
- ・ 鶏肉、牛レバー、ジビエ等の生食の危険性の周知
- ・ 農薬を使わない栽培方法の啓発

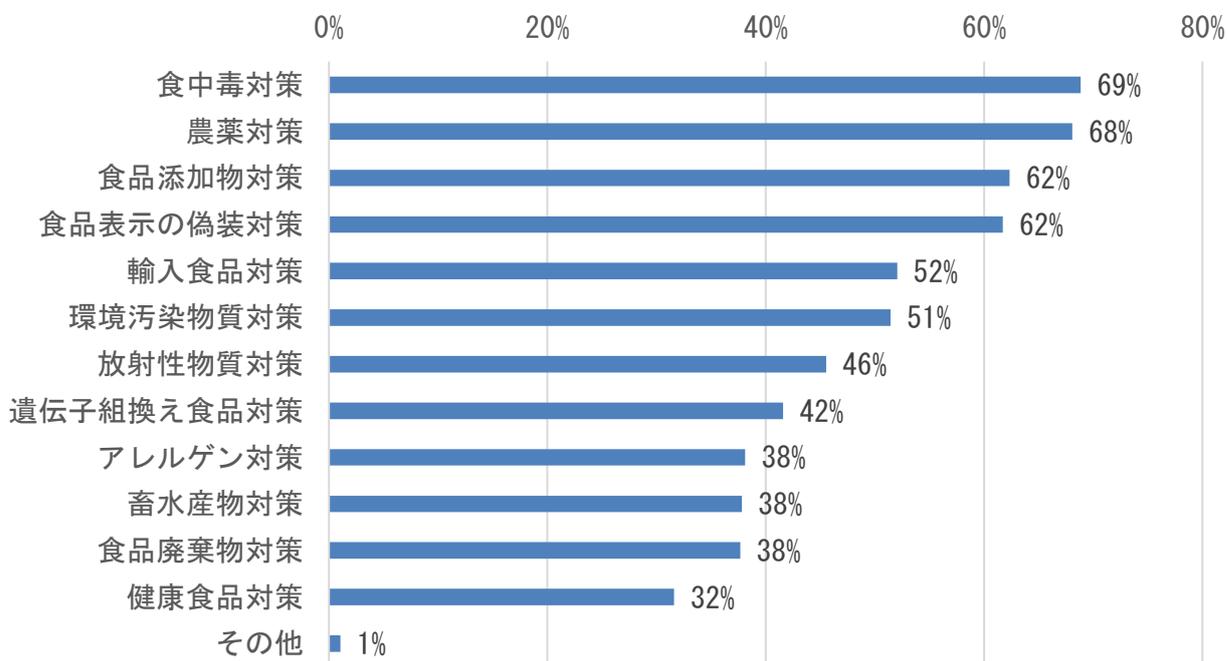


問6 食品関連事業者の監視指導や食品の検査について、県はどのようなことに力を入れて取り組むべきだと思いますか。（複数回答）

	回答者数	割合
食中毒対策	455	69%
農薬対策	450	68%
食品添加物対策	412	62%
食品表示の偽装対策	408	62%
輸入食品対策	344	52%
環境汚染物質対策	340	51%
放射性物質対策	301	46%
遺伝子組換え食品対策	275	42%
アレルギー対策	252	38%
畜水産物対策	250	38%
食品廃棄物対策	249	38%
健康食品対策	209	32%
その他	7	1%

「その他」のうち主なもの

- ・有機栽培や古来の農業技術の研究・応用



問7 その他、食品の安全性に関する県の施策に対して、ご意見やご感想などございましたら、具体的に記入してください。（自由記述）

○食品安全に関する情報提供やリスクコミュニケーション等について

- ・食中毒予防など、食品安全に関する情報を消費者向けに周知啓発してほしい。
- ・手洗いや食材の扱いなどについて、学校教育から社会人まで、食に対する教育をあらゆる機会を捉えて行ってほしい。
- ・食品の安全のために県が何を実施しているのか、もっと広く発信した方が良い。
- ・食品の安全性への関心が高い人の意見ばかりではなく、幅広く意見を聞き、多くの人の健康に貢献していただきたい。

検査や監視指導等について

- ・食品の検査やお店の立ち入り調査を、抜き打ちで定期的に行ってほしい。
- ・産地偽装などで、岐阜県ブランドの食品の信頼を落とすことが無いよう、しっかりと監視をお願いしたい。
- ・食品を選択・購入する際に、食品表示の内容は大きな影響力がある。そのため、偽装表示はもってのほかであり、誇大広告等もしっかり取り締まってほしい。
- ・外国産食品や新しい商品について検査や監視を強化してほしい。
- ・販売業者に対する食品の衛生管理についての適正指導をお願いします。
- ・安心安全な食品を提供することを強化しすぎると、食品ロスが増えるのではないかと心が痛みます。
- ・どの取組みも重要だが、限られた人材や時間でも実施できるよう、DXの活用など新しい手法を取り入れながら効率的に業務を遂行していただきたい。

地産地消の推進について

- ・岐阜県産の食品は他県産や輸入品に比べて安心して購入できるため、地産地消をもっと推進してほしい。
- ・安全な農畜産物を生産するよう、生産者への指導や補助金の給付を行ってほしい。
- ・地産地消を広めるため、売り場やイベント等でアピールしてほしい。
- ・地産地消に貢献している食品関連事業者を表彰するなど、差別化と消費者への周知をしてはどうか。
- ・減農薬の野菜や果物、無添加の土産菓子等を県で認定し、アピールできるといいと思います。
- ・岐阜県で生産される食のブランド化や、IT技術の活用などによる生産の効率化を進め、安全でおいしく付加価値が多い食を開発し、若い人が安心して生活できる仕組みづくりを構築してほしい。
- ・県内でオーガニック野菜等を作っている他県への流出が多いため、県内でも購入できるようにしてほしい。

その他

- ・日本は外国より食品添加物の規制が緩いように思う。
- ・海外で使用が禁止されている農薬について、日本でも規制してほしい。
- ・学校給食をオーガニックや無添加の食品で提供してほしい。